

(別紙4(2))

グループホーム悠々

目標達成計画

作成日: 平成 29年12月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	前回の課題である夜間の避難訓練がまだ実施されていない。限られた職員でどのように避難誘導をしていくか課題である。	夜間を想定した職員の数で施設全体での避難訓練を実施する。	防災委員とリスクマネジメント委員会で夜間帯の避難訓練の実施方法を計画書を作成し、避難訓練を実施する。	6ヶ月
2	49	利用者様のADLが低下してきており、一人ひとりの希望に沿って外出支援が困難な状態になっている。その中でいかに外出が困難になってきている利用者様に外出支援が提供できるかが課題になっている。	認知症で意思疎通が困難になっている利用者様、また体力が低下してきている利用者様でも、四季の変化が感じていたける様に外出支援を提供する。	車椅子で降りられる場所で尚且つ近距離である所を選び、外出企画をたてて、より多くの利用者様に外出して頂く。	3ヶ月
3	48	利用者様に楽しんで頂ける様にレク等提供しているが、どうしても偏った利用者様になりがちである。認知症が進行した利用者様でも楽しんでもらえるようなレクを提供できるようにすることが課題である。	無表情な利用者様が笑顔がより多く見られるようにその人独自のレクリエーションを考慮し提供してみる。	ユニットカンファで話し合い、一人ひとりに合った楽しみ方を考えて企画を出し合い検討し、提供していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。